

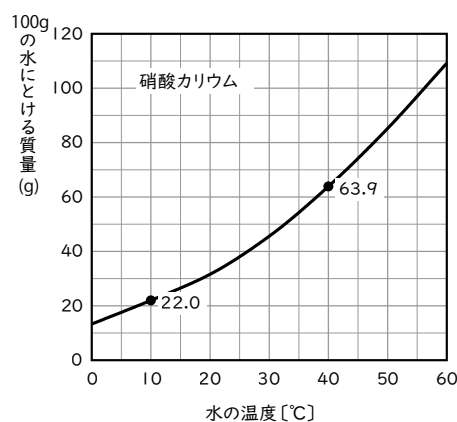
溶解度と再結晶

NO.3

学習日：

点

1 右の図は、硝酸カリウムが100gの水にとける質量と温度との関係を表したものである。次の問いに答えなさい。



① 40℃の水100gに、硝酸カリウムは何gまでとけるか。

()

② 40℃の水100gでつくった硝酸カリウムの飽和水溶液を10℃まで冷やすと、何gの結晶が出てくるか。

()

③ 40℃の水100gに硝酸カリウムを50gとかした水溶液を10℃まで冷やすと、何gの結晶が出てくるか。

()

④ このように、物質をいったん水にとかし、再び結晶としてとり出す操作を何と
いうか。

()

2 下の表は、硫酸銅が100gの水にとける質量と温度との関係を表したものである。次の問いに答えなさい。

温度 [°C]	0	20	40	60	80
とける質量 [g]	24	36	54	80	128

① 60℃の水200gには、硫酸銅は何gまでとけるか。

()

② ①の飽和水溶液を20℃まで冷やすと、何gの結晶が出てくるか。

()

③ ②で冷やしていくとき、水溶液の青色のこさはどうなるか。

()

解答

1

① 63.9g

② 式： $63.9 - 22.0 = 41.9$ 答え：41.9g③ 式： $50 - 22.0 = 28.0$ 答え：28.0g

④ 再結晶

2① 式： $80 \times 2 = 160$ 答え：160g② 式： $36 \times 2 = 72$, $160 - 72 = 88$ 答え：88g

③ うすくなる。